

日時	発表者	連絡先	発表・配布先
令和6年10月25日 (金)	(公財)ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 足立 宰 (成長期待企業発掘・育成担当課長 林 謙太郎)	078-977-9118	

「成長期待企業」(2024年度第2四半期選定)の情報提供について

(公財)ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の6社(累計610社)を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

1 (株)三和製作所(鉄道関連部品、自動車部品試作、ロボット関連部品・油圧関連部品等)

短納期・高品質の試作品提供を通じて日本の製造業を支える企業!

(1) 沿革等

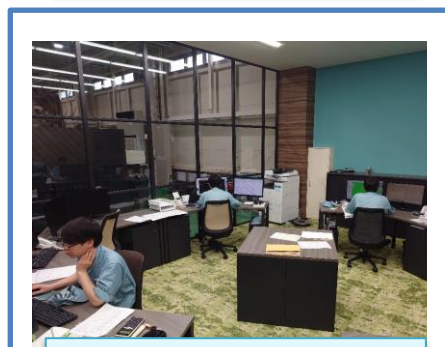
- 同社は、1932年(昭和7年)に産業用マシン部品の製造、販売会社として石井俊一氏が創業した。1951年(昭和26年)にマシンメーカーとして法人化。1963年(昭和38年)に三和工業マシン(株)に社名変更。2000年(平成12年)に社名を創業時の名称である三和製作所に変更する。2002年(平成14年)に石井康文氏が代表取締役に就任し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- 同社は、精密金属加工を主力として、鉄道関連部品および自動車試作部品の切削加工、その他通信機やロボット関連部品の加工を行っている。ハイスペックな加工機を多数保有し、ミッション部品やエンジン部品など精度の高い加工が可能である。また、機械の無人稼働を活用し、24時間体制で製品加工を行うことで短納期対応を実現している。小ロットで難易度の高い試作品加工を主に手掛け、高精度の加工と迅速な対応力で様々な分野の試作開発品を製造し、ものづくり各社の研究開発を支えている。特に、鉄道関連のブレーキ部品などの高品質を要求される量産加工や自動車関連の製品開発工程に合わせた複数の試作品を短納期で提供できる対応力は、顧客から高い評価を得ている。



本社第二工場：入退室管理が施された工場内には5軸加工機等の高精度精密加工機が配備されている



生産技術室：ここで現場技術者と加工前打合せを行い、加工プログラムを作成。また生産工程改善、加工時間短縮等の課題解決に向けた対策も検討する

(3) 今後の展開

- 今後の事業拡大の方向性をロボット、防衛関連、産業機器関連分野に置いており、社員教育の推進、見える化の推進、営業戦略の見直しを実施する。収益力の向上、社員の平均収入アップを図り、企業力向上の視点に沿った高いレベルでのチャレンジを続けていく。

【(株)三和製作所 概要】

代表者：石井 康文
資本金：5,738万円
従業員数：85名(内パート3名)
所在地：淡路市志筑2570-2
設立：1951年(昭和26年)2月
電話番号：0799-62-0205
ホームページ：<https://www.sanwa-q.co.jp/>



「心をこめて大切な人を」の想いを胸に、故人様の最期の旅に寄り添う企業！

(1) 沿革等

- ・同社は、1925年(大正14年)、現代表の曾祖父が造花会社として創業。1962年(昭和37年)に遺体搬送部門を分社化し、阪神特殊自動車を設立。先々代の父の入院を機に2014年(平成26年)に現代表の足立和宏氏が入社。2019年(令和元年)に現代表が代表取締役に就任し、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- ・同社は、一般貨物自動車運送事業者(霊柩限定)であり、霊柩自動車運送事業を主業務としている。業界の深刻な長時間労働の常態化を解消するため、従業員の増員や業務手順の大幅な刷新などの経営改革を推進し、従業員の労働時間の軽減等の職場環境の改善を行った。同時に、安全管理の徹底、葬儀対応に関する接客技術の研修などサービス品質の向上を図っている。
- ・自社の持つ24時間ノウハウを活用して、顧客である葬儀社が、より大切な葬儀業務に専念でき、遺族から「ありがとう」の感謝の言葉が得られるように、いつでも、どこでも365日24時間対応の葬儀社の夜間業務代行等のサポートを行っている。



「新型霊柩車」
2024年5月15日より運用開始



落ち着いた空間でゆっくりと
故人との時間を過ごせる「お別れ室」レンタルサービス

(3) 今後の展開

- ・安置場所提供サービス、夜間早朝業務代行サービス、お別れ室レンタルサービスなど顧客である葬儀社に対するサポート事業をさらに拡大し、兵庫県全域を面でサポートする体制を整え、そのシステムを近畿全域で標準化することを企図している。
- ・過疎化、人手不足、働き方改革などの社会課題への挑戦を今後も続け、社会課題解決型企业となることを目指す。

【阪神特殊自動車(株) 概要】

代表者：足立 和宏
資本金：1,000万円
従業員数：41名(内パート6名)
所在地：伊丹市瑞原1-28
設立：1962年(昭和37年)9月
電話番号：072-777-3121
ホームページ：https://hantoku09.jp



中小企業に適した初めてのロボット導入を支援する企業！

(1) 沿革等

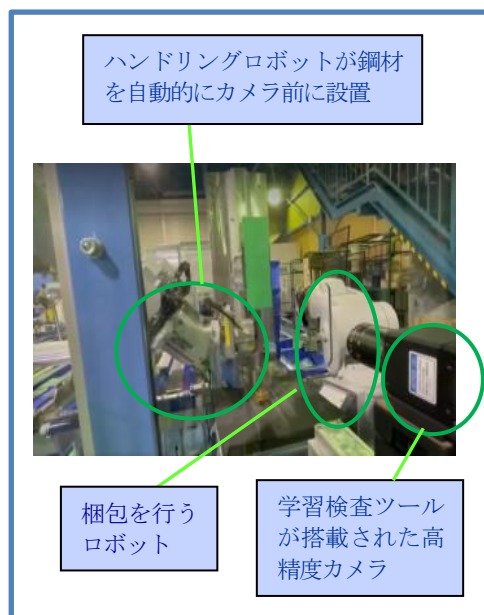
- ・ 同社は、2014年(平成26年)に設立された(株)ゼロプラスの関連会社として、2016年(平成28年)に現代表が設立した。2018年(平成30年)に資本金を2000万円に増資し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・ 同社は、伊丹市に所在するロボットシステムインテグレータ事業者である。主要顧客は、金属加工を行う中小企業であり、ロボット導入に関する知識や経験が不足している町工場をターゲットとしている。ロボットの専門知識を持つ中小企業診断士が、顧客の業務全体の分析に基づいて、「投資対効果」や「事業として収益が見込めるか」という経営的視点から、もっとも適した自動化を提案している。
- ・ 無理に高機能なロボットを活用することは避けると共に、グループ会社で中小企業庁認定支援機関の(株)ゼロプラスと連携して、各種補助制度を活用する等、より少ない費用での自動化提案を行うなど、顧客に寄り添った経営的視点からの提案力が同社の強みである。

(3) 今後の展開

- ・ 特定領域でセミオーダーメイド対応ができるロボットシステムの導入実績を積み上げることでノウハウを蓄積し、システムインテグレーションのコストオーバーリスクの低減を図る。
- ・ 自動化・省人化ニーズの急激な高まりを追い風と捉え、近畿圏の金属加工業の加工工程・検査工程に特化したロボットシステムのさらなる強化で、地元中小企業の生産性向上・雇用創出に貢献する。



ハンドリングロボットが鋼材を自動的にカメラ前に設置

梱包を行うロボット

学習検査ツールが搭載された高精度カメラ

画像センサとハンドリングロボットを組み合わせた「鋼材検査ロボットシステム」を開発し、キズの検出と検査・梱包工程を自動化



鋼材流通加工業向けミガキ丸棒の全数検査システム

【(株)ロボプラス 概要】

代表者：大場 正樹

資本金：2,000万円

従業員数：6名

所在地：伊丹市西台1丁目5-7 伊丹駅前ファミリーハイツ2F

設立：2016年(平成28年)9月

電話番号：072-764-7127

ホームページ：https://www.roboplus.co.jp



神戸に密着して40年以上、住まいのトータルサポート企業！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、1987年(昭和62年)に資本金1000万円でアイビスグループの建設会社として設立された。2000年(平成12年)に現代表の鵜田泰明氏が代表取締役に就任。2007年(平成19年)に(株)トキタホームの注文住宅部門として「こべっこハウス」を設立した。2012年(平成24年)に資本金を3600万円に増資し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・ 同社は、神戸市灘区で新築工事を年間約8棟、リフォーム工事を年間約200件行っている工務店である。ターゲットを神戸に絞り、神戸に密着したプロとして「住まい」選びのアドバイスや、継続したサポートを続けていくことで事業を強化している。
- ・ 神戸ならではの困りごと(土地がない・土地代が高い)を解消するため、家自体をコンパクトにしつつも広く見える工夫を凝らし、耐震・省エネ性能も高めた安心安全な住宅の提供を行っている。

(3) 今後の展開

- ・ 同社がこれまで長年にわたり培ってきた様々な注文住宅やリフォーム事業の技術力を活かし、神戸エリアの地域密着戦略の新しい事業として、あえて居住空間(住宅の総容量)を減らす省エネ効率の高い「コンパクトハウスC+」を立ち上げる。コンパクトでありながら居住者に圧迫感を与えない家づくりで、比較的安価で住みやすい家を提案する。近年の光熱費などの物価が高騰する中で、新たな顧客を獲得し、事業の拡大を図る。



狭い空間を広く見せる工夫
曲線を活かした壁設計

圧迫感を
軽減する
デジタル窓



コンパクトでも圧迫感・閉塞感を感じないようにする多様な工夫



コンパクトハウスC+(プラス) コンパクトなのに圧迫感のない家づくり

【(株)トキタホーム 概要】

代表者：鵜田 泰明
資本金：3,600万円
従業員数：5名
所在地：神戸市灘区城内通4-7-16
設立：1987年(昭和62年)8月
電話番号：078-861-0220
ホームページ：<https://ibis-group.jp/company/info/>



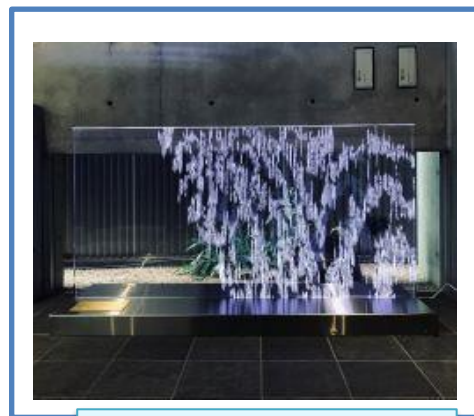
神戸の地に発祥し、神戸とともに時代を歩む 小曾根による芸術文化振興！

(1) 沿革等

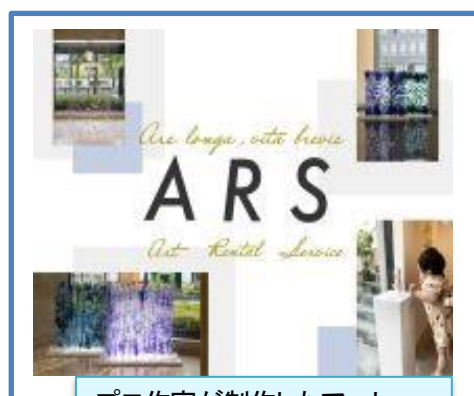
- ・小曾根家は、17世紀に兵庫醸造三大名家に数えられ、19世紀後半から不動産賃貸業と多角的事業投資に注力し、インフラ整備事業を中心に多くの法人設立に携わってきた。1921年(大正10年)に法人成りし、本小曾根合資会社を設立。1982年(昭和57年)に本小曾根合資会社と多聞商事(株)が合併し、(株)オゾネとなる。2016年(平成28年)に現代表が代表取締役役に就任し、現在に至る。

(2) 当社の特徴

- ・同社は、不動産賃貸業を中核事業とし、損害保険代理業、生命保険媒介業、雑貨店、美術品の賃貸借仲介業を営んでいる。美術品の賃貸借仲介業を通じ、アート作品展示による不動産部門の価値向上、アート作品への保険の付帯による保険部門との連携、雑貨店でのアート関連商品の販売等、既存事業との相乗効果が見込まれる。
- ・アート作品のレンタル対象は、京阪神の法人に限定し、高値で飾れなかった作品を展示できる機会を提供する。かつて横山大観や村上華岳らを買収した歴史があり、アートレンタルサービスを通じて社会貢献とビジネスを融合し、発展させることを目指している。



社内に飾ったアート作品で
企業イメージやブランド
イメージの形成に寄与する



プロ作家が制作したアート
作品を京阪神の法人向けに
レンタルするサービス
『Art Rental Service』

(3) 今後の展開

- ・民間でできる芸術文化振興を普及させることを事業目的とし、プロのアーティストを中心に制作活動を社会的・経済的に支援すべく、新事業としてアートレンタルサービス「ARS」をWEBプラットフォーム上で運営する。さらに、アートへの理解度を深めるための人材教育を実施し、アート部門と既存部門との連携をより強め、ビジネスチャンスの拡大を図る。

【(株)オゾネ 概要】

代表者：小曾根 佳生
資本金：3,200万円
従業員数：6名
所在地：神戸市中央区中町通3-2-15
設立：1921年(大正10年)
電話番号：078-341-2326
ホームページ：<https://hon-ozone.jp/>



「お葬儀屋さん」から「相談できる屋さん」へ お葬儀まるごと解決企業！

(1) 沿革等

- ・同社は、1961年（昭和36年）、八鹿町新町に「八鹿葬具店」として開業した。1976年（昭和51年）に社名を西村交益社に変更。2001年（平成13年）にあまご会館が竣工、2008年（平成20年）につるぎ会館が竣工、2019年（令和元年）につるぎ会館敷地内に法要会館が竣工し、現在に至る。



法要会館 「やまぶきホール」
女性に優しい法要専門ホール

(2) 当社の特徴

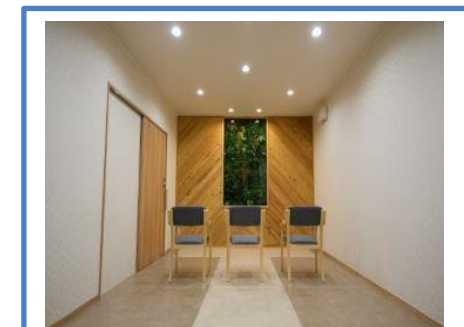
- ・同社は、養父市八鹿町に本社を置く地域に密着した葬儀事業者である。二つの会館（葬儀場）と但馬地区唯一の法要会館を有し、養父市及び香美町村岡区の住人の葬儀に必要な支度や葬儀を執り行う役割を担っている。社員は葬儀の専門知識を持ち、経験も豊富で、介助技術等を有している。さらに、故人や遺族の気持ち・課題に寄り添う「社員の心の育成」にも取り組んでおり、利用者の満足を得られるサービスの提供力・予期せぬことが起きた場合の対応力に強みを持っている。
- ・人口減少や少子高齢化による葬儀需要の減少予測に対応し、葬儀を中心とした葬儀前後の困りごとの相談事業として、「お葬儀まるごと解決相談センター（商標登録済）」を開設している。



会員情報誌「わだち」、会員カード
「やまぶきカード」を発行

(3) 今後の展開

- ・今後の動向として、通夜や告別式は行わず、身近な人だけで大切な人を丁寧に送る直葬需要が拡大することが見込まれるため、直葬前に小さなお別れの場所を提供する「小さなお別れの場 KOKOSOU（商標登録済）」のサービスを商品化する。さらに、そのノウハウをフランチャイズ展開することにより、都市部の葬儀需要の獲得を企図している。



「小さなお別れの場
KOKOSOU」サービスの
お別れ室の内部

【(株)西村交益社 概要】

代表者：西村 正司
 資本金：800万円
 従業員数：10名（内パート2名）
 所在地：養父市八鹿町国木133-1
 設立：1961年（昭和36年）9月
 電話番号：079-662-5909
 ホームページ：<https://www/koekisha.info/>



〔参考〕 成長期待企業について

1 概要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載